

令和3年11月8日  
大洲河川国道事務所

うちうみ  
愛南町立内海中学校で防災教育を実施  
～「防災文化」の創造を目指して～

愛南町防災教育推進懇談会（別紙1参照）では、南海トラフ地震・津波や風水災害など大規模な自然災害に対する知恵・公的精神・技能が、親から子、子から孫へと世代間で継承されていく防災地域社会システム、いわゆる、「防災文化」を創造することを目的とした防災教育を、平成21年度から継続して実施しています。今年度もその一環として、当事務所による防災に関する出前講座や現場見学などを、愛南町立内海中学校の1年生を対象に開催します。

1. 開催日時 : 令和3年11月15日（月）13:30～15:30（別紙2参照）
2. 開催場所 : 内海中学校及び津島道路工事現場
3. 対象学年 : 内海中学校 1年生12名および教職員
4. 実施内容 : ①出前講座「座学：防災学習」（別紙3参照）  
②現場見学（別紙4参照）

※当日大雨等で中止した場合、令和3年11月16日（火）の同時時間帯に変更します。

※当日の防災教育は公開です。取材希望がございましたら下記問い合わせ先まで事前にご連絡下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用等の感染対策にご協力をお願いいたします。

愛南町防災教育推進懇談会  
国土交通省 大洲河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「NO.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」に該当します。

【問い合わせ先】

愛南町防災教育推進懇談会 愛南町消防本部防災対策課 TEL : 0895-72-0131

防災対策課長 守口 庸夫（もりぐち つねお）

防災対策課長補佐 森口 弘喜（もりぐち ひろき）

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL : 0893-24-5185(代)

副所長（道路） 大西 篤（おおにし あつし）（内205）

○計画課長 藤本 和巳（ふじもと かずみ）（内261）

○ : 主な問い合わせ先



## 《愛南町防災教育推進懇談会について》

### ◆目的

愛南町は、災害に脆弱な地勢である上に、地球温暖化を起因にした大規模気象災害、今後30年以内に70～80%程度の確率で発生すると言われていた南海トラフ地震等の危機が迫っております。

そこで、愛南町防災教育推進懇談会は、これらの危機に対する知恵・公的精神・技能が、親から子、子から孫へと世代間で継承されていく防災地域社会システム、いわゆる「防災文化」を創造することを目的とした取り組みを行っています。

### ◆構成機関（15機関）

#### ○主宰機関

- ・愛南町
- ・愛南町教育委員会
- ・国立大学法人愛媛大学防災情報研究センター
- ・国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所

#### ○賛助機関

- ・南宇和郡校長会
- ・南宇和郡教頭会
- ・愛南町自主防災組織連絡協議会
- ・愛南町消防団
- ・愛南町連合婦人会
- ・愛南町ボランティア連絡会
- ・愛南町老人クラブ連合会
- ・愛南町民生児童委員協議会
- ・南宇和郡公民館連絡協議会

#### ○協力機関

- ・愛媛県南予地方局
- ・愛媛県教育委員会

## 防災教育

日時：令和3年11月15日（月）13:30～15:30

場所：①内海中学校  
（愛媛県南宇和郡愛南町須ノ川 295-1）

②現場見学 津島道路工事現場  
（愛媛県南宇和郡愛南町柏地先）

時間	内容
13:30～14:00	あいさつ 内海中学校長 <small>こんどう こういち</small> 近藤 浩一 ①出前講座「座学：防災学習」 大洲河川国道事務所 計画課長 <small>ふじもと かずみ</small> 藤本 和巳
14:00～14:15	（移動）
14:15～14:30	②現場見学 ・あいさつ 津島監督官 <small>きうち よしふみ</small> 木内 美文 ・全体およびトンネル工事現場の概要説明 大成建設（株）
14:30～14:40	〔BOXカルバート見学〕
14:40～15:20	〔4班に分かれて〕 1) ドローン体験 2) 重機（バックホウ）体験 3) 測量体験 4) 高所作業車体験  （全体質疑応答）
15:20～15:30	生徒感想発表 あいさつ （現地解散）

## 《出前講座》

四国地方整備局では、事業や施策についてもっと知っていただくとともに、皆様のご意見やナマの声を聞かせていただく場として「出前講座」を行っています。

「出前講座」においては、皆さんの様々な興味・疑問について、職員が持つ知見を活かし、最新情報を交えながら分かり易くお話をさせていただきます。また、皆さんとの意見交換を通じてニーズや声を聞かせていただき、今後の国土交通行政にも反映させていきたいと考えています。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 30 情復、第 356 号)

